

第5章 令和4年度取組結果と今後の検討方針

(1)に令和4年度における下水道技術開発会議の主な取組結果を、(2)に今後の主な検討方針を示す。

(1) 令和4年度の主な取組結果

(課題解決技術支援ツール(試行版)に対する自治体ヒアリング調査と改良)

令和3年度に実施した自治体に対するヒアリング結果を踏まえて改良した課題解決技術支援ツール(試行版)を令和4年6月に一般公開した。さらなる改良を図るため、6自治体にツールの試行を依頼し、使用感や改良点についてヒアリングし、改良点を整理した。

(下水道関連企業に対する技術開発状況に関するアンケート調査)

下水道技術のニーズとシーズのマッチングを促進するため、下水道関連企業の技術開発に対する考え方について調査し把握するため、アンケート調査を実施した。

(新技術の導入実績やマニュアル・ガイドライン類の活用状況調査)

課題解決技術支援ツール(試行版)に登録した新技術やガイドライン・マニュアル類について、当該技術の導入実績数や導入団体に関する情報をツールに追加したり、今後の課題を分析するため、ヒアリング調査やアンケート調査を実施した。

(エネルギー分科会での検討)

エネルギー分科会において、脱炭素に向けた検討を行うとともに、令和4年度のアウプットとして、①2050年カーボンニュートラルに向けたシナリオ再検討による今後促進すべき技術開発項目抽出、②令和3年度作成の「2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するための下水道技術の技術開発ロードマップ」の下水道技術ビジョン・ロードマップへの統合案作成、③下水処理場からのGHG排出削減目標設定等の検討に向けた簡易ツールの作成を行った。

(ロードマップ重点課題の選定、ロードマップの見直し)

下水道技術ビジョン・ロードマップ重点課題を選定し公表するとともに、エネルギー分科会ロードマップや新下水道ビジョン加速戦略の改訂を踏まえてロードマップを見直し、公表した。

(2) 今後の主な検討方針

令和4年度の実績および下水道技術開発会議での議論等を踏まえ、令和5年度以降の主な取組内容を以下に示す。

- ① 令和4年度に整理した課題解決技術支援ツール(試行版)の改良案を踏まえ、改良を行うとともに、一般公開を行い、広報に取り組む。
- ② エネルギー分科会において、脱炭素にかかる技術開発の推進に向け、ロードマップのフォローに向けた情報収集を行うとともに、地方公共団体に脱炭素化検討・取組支援に資する事項として廃棄物との一体処理推進に向けた検討手順書案や下水道資源活用による下水道

事業以外への貢献評価に向けた整理、水処理過程での N_2O 発生メカニズム・制御因子解明に向けた調査、将来的な全体最適化に向けた検討を実施していく。

- ③ 現行の技術開発ロードマップの進捗度評価や今後必要な技術等について検討し、エネルギー分科会ロードマップを参考に、ロードマップ全体の見直しの検討を行う。